



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2008 vol.2

ERFC 清里ミーティング告知号

今年の清里ミーティングは11月9日です！

ごあいさつ

こんにちは。ひでまる@会長です。

すげー暑いと思ったら猛烈な雨が降ったりするイヤな天気が続いてますが、みなさんのところはいかがですか？名古屋でも先日ひどい雨が降って、いろんな方からいっぱいご心配いただきました。ぼくも去年の清里前日の嵐に遭ったスマートが動かなくなっちゃったことを思い出したりしてちょっとドキドキしましたが、幸いなことにうちは高台にあるので被害はありませんでした。でも場所によって



は 2000 年の東海豪雨のときよりひどかったところもあるようで、ごく近所でも避難勧告が出されたり、玄関から水が入ってきたり、床下収納が浮き上がってきたり、クルマが浸水したりっていう話を聞きました。近所のディーラーも浸水したクルマがいっぱい在庫してきてタイヘンみたいです。どーゆーわけかぼくの周りでは屋根があるクルマなのに雨漏りする話がよく出てきます。ロードスターも最近はかなり年季の入ったのもあるし、幌で外に停めてあったりするとかなりひどいことになったりしてるんじゃないでしょうか。だいじょーぶですか？



と、今回はそんなことを書くんじゃないかって、清里ミーティングのお知らせです。ことしもいろいろな方々にサポートしていただいて、なんとか 19 回目の E.R.F.C.清里ミーティングを開催いたします。11月なんてまだまだ先のことのような気がしますが、もうあと2ヶ月しかありません。しっかり予定に入れといてくださいね。ことしの清里ミーティングは20周年を目前にして、ロードスターの成人式の前祝いみたいですよ。おたのしみに。

ではみなさん、清里でお会いしましょう。

(ひでまる)

清里ミーティングへのお誘い

9月に入ってもまだまだ残暑が・・・と書こうとしたらあっちこちでゲリラ豪雨。これをお読みの皆さん、家や愛車は無事でしょうか？被害にあわれた方、心よりお見舞い申し上げます。

さて今年もはや9月、いや間もなく10月です。清里ミーティングまであと2ヶ月・・・私たちスタッフも少しずつあわただしさを増しています。とは言うものの、実際のところどうなるかはフタを開けてみないとわからないので、これだけ長くやっても未だに手探りなところも。その最たるものが天候です。

今年の開催は11月に入ってからですので寒くなるとは思いますが、お天気次第ではコート不要になることも。反面、雲が厚ければ雪がちらつく可能性があり、まったく油断できません。ミーティングへお越しの際は、セーターかストールをどうか一枚余分にお持ちくださいね。雨対策までしていただければ万全です。

もちろん、私たちスタッフも準備万端整えて、皆様をお待ちしています。秋（初冬かも？）の清里でお会いいたしましょう。
(受付チーム：つのがま@にし)



【第19回E. R. F. C. 清里ミーティング概要】

開催日 2008年11月9日（日曜）

時間 9:30～15:00（雨天決行）

会場 (財)キープ協会 清泉寮

(山梨県北杜市高根町清里)

募集台数 100台（ゲスト・スタッフは除く）

参加資格 ロードスターを愛する人なら誰でもOK

参加費用 お一人様 ¥5,000（18歳以上の同伴者も同額です）

金額にはお弁当代と寄付金を含みます

当日会場にてお支払いください。

なお、18歳未満の同伴者でお弁当が必要な場合はご相談ください。



このイベントを開催するにあたり、毎年多大なご協力をいただいていますキープ協会は、創設者の故ポール・ラッシュ博士の想いを引き継ぎ、環境問題や国際教育などに力を注がれている団体です。

E.R.F.C.は、この趣旨に賛同すると共に、会場となります清泉寮とその周辺、さらにはキープ協会がこれまで守られてきた美しい八ヶ岳の風景をも「お借りしている」と考えています。そのため、「施設使用料」の代わりとして、参加費の中からイベント運営費とは別に、お一人様につき1000円を寄付させていただいております。

またご同乗者の方も参加者として運転手の方と同じ扱いとさせていただきますので、参加費も同額としております。どうかご理解の程お願いいたします。

【申し込み方法】

○ 申し込み方法は次の二通りの方法があります。どちらかご都合の良い方をお選びください。

1. e-mail による申込み

『車1台につきメール一通』でお申込みください。

メールの題名の先頭に「清里申込み」と入れてください。

メールの本文に

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号（申込み内容の確認をすることがあります）
 - ◆ お名前
 - ◆ 乗ってくる車の型式（NA / NB / NC）（ロードスター以外の方は車名）
 - ◆ ナンバー
 - ◆ 大人の参加者数
 - ◆ 18歳未満の参加者数（お弁当が必要であればその旨もお願いします。）
- を必ず明記してください。

応募の宛て先 : info@erfc.sakura.ne.jp

2. ハガキによる申込み

『車1台につきハガキ一通』でお申込みください。

ハガキに

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号（申込み内容の確認をすることがあります）
 - ◆ お名前
 - ◆ 乗ってくる車の型式（NA / NB / NC）（ロードスター以外の方は車名）
 - ◆ ナンバー
 - ◆ 大人の参加者数
 - ◆ 18歳未満の参加者数（お弁当が必要であればその旨もお願いします。）
- を必ず明記してください。

応募の宛て先

〒362-0071 埼玉県上尾市井戸木 4-22-22 角山方 E.R.F.C. 事務局

○締め切り

ハガキ、e-mail とも 11/1(金) 事務局必着です。

ただし申込み台数が 100 台を超えた場合はそれより前に締切の場合があります。

○受付の確認

10/1以降、ハガキまたはメールの到着後 10 日もしくは 11/5(水)までに受付確認用の資料を郵送します。もしそれを過ぎても連絡の無い場合はハガキまたはメールでお問い合わせください。

また残念ながら受付をお断りする場合は必ずこちらからご連絡します。

○注意

締め切りをお守りください。

申込み内容や申込み方法に不備がある場合、無効になる場合があります。

ご不明な点やご質問は、ハガキまたはメールで事務局までお願い致します。

なお、本応募要綱等は ERFC のホームページ (<http://erfc.sakura.ne.jp/>) でも見ることができます。

ではスタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしております。

『ちょいと車を眺めに広島へ』 ～幻のスーパーカーに会いに～

この夏、お盆休みを利用して広島まで行ってきました。目的は広島市交通科学館で夏休み期間中開催されていた「まぼろしのスーパーカー展」、その目玉車両だった『MAZDA RX500』を見に。

このRX500とは1970年の東京モーターショーに登場したロータリーエンジン搭載のコンセプトカー。当時、その斬新なデザインと最高速200km/hを超えと言われていた当時の最高性能への憧れから「トミカ」にもラインナップされたスーパーカーである。そしてそのデザインをされたのは清里ミーティングでもいつもお世話になっている福田成徳さんです！この度、マツダの倉庫での30年の眠りから覚め、レストアされてここに展示されることになったのです。

企画展は連日大盛況だったらしく、お客さんが全国から訪れていたらしい。現に8月始めに行われた開発者のトークセッションには某会長もスマートで往復するなどして参加しているし。(´_`)と言うか、実は自分もその時の誘われたのに行けなかったから居ても立ってもいられなくなったわけだし(笑)

と言うわけで、広島市内と北部郊外を結ぶ新交通システム『アストラムライン』に乗って広島市交通科学館へ。普通は市街地にあることの多い施設なのに何故郊外にあるかと言えば、ここはアストラムラインの車両基地の上に建てられているのです。

会場に入るといわゆる往年のスーパーカーブームの主演達が何台も並んでいる。『フェラーリ・512BBi』『コルベット スティングレイ』『ディーノ 246GTS』『ランボルギーニ ミウラ P400』・・・ああ、このラインナップに「どこもまぼろしじゃ無いじゃん」って思ってしまったあなた！きっとそれはあなたが自動車乗りとして幸せな環境に居るからです。(笑)やっぱり一般的にはこういう車に出会う機会はなかなか無いわけだし、そう言う車に出会えるイベントに参加する機会もありませんものね。(´_`) (写真も載せたいけどスペースが・・・)



さて、目指すRX500は企画展会場の一番奥のエリアに展示されていました。その特徴的なガルウィング(バタフライ?)ドアやエンジンフードが全開になっているその車体を囲むように、周りの壁には福田さんのイラストや図面が！もしも時代が許せば2代目コスモスポーツとして登場したかもしれないRX500。福田さんが想定していた3つのボディタイプのRX500が日本各地を走る姿を描いたイラストが私達の想像も掻き立てる。

またショーケースには当時のスタディスケッチや、トミカなどのRX500グッズ。そしてスーパーカー消しゴムなど、時代を飾った品々が・・・。ちなみにRX500の展示エリアの奥にはこちらも間違いなくまぼろしの一台『童夢 零』が鎮座していた。

RX500を筆頭にこれらスーパーカーたちの姿を前から後ろから、さらに全体を見ては細部を覗き込み・・・そんな風にその造形に見とれているうちに思っていた以上に時間を過ごすことになってしまった。

そしてちょうど翌日からRX500はドアを全て閉めた状態での展示に切り替わると言うことで、朝一番から再び交通科学館を訪れていたのでありました。(笑)

ちなみに8月いっぱいまで展示の終わったRX500ですが、今は企画展までの準備期間ではやり残した部分のレストアに入ったそうで、おそらく来年初めまでは我々の目の前に姿を現すことは無いらしいです。でも、レストア終了後にはできるだけいい形で展示できるように方法を検討しているそうなので、きっとまたどこかで出会えることでしょう。

あ。そんなわけで清里ミーティングでの展示はありえませんからね、念のため。(苦笑)

(まめぞう)

編集後記

今年はずっと遅い開催ですが、特にイベント初期から参加し続けておられる方や、NAファンにはきっと見逃せない内容になりそうです。ではみなさん、清里でお会いしましょう！

(清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 通信

2008 Vol.2 2008年 9月25日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp